

青森県経済統計報告

平成 25 年 8 月 5 日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成 25 年 7 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,337,580 人（対前月 601 人減少）
自然動態	546 人減少（出生者数 683 人、死亡者数 1,229 人）
社会動態	55 人減少（転入者数 1,218 人、転出者数 1,273 人）

2 本県の経済動向（平成 25 年 5 月・6 月の経済指標を中心として）

（1）経済概況

本県経済は、生産面は横ばい傾向にあるほか、消費面に一部持ち直しの兆しがうかがわれる。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成 25 年 5 月の青森県鉱工業生産指数(平成 17 年=100)は、季節調整済指数が 106.4 で、前月比 1.1%の上昇となり、2 ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 104.5 で、前年同月比 0.7%の上昇となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回った。 … 2
- (2-2) 雇用情勢 平成 25 年 5 月の定期給与は 218,540 円で前年同月比 2.1%増となった。総実労働時間は 151.7 時間で前年同月比 0.5%増、所定外労働時間は 8.2 時間で前年同月比 3.5%減となった。平成 25 年 6 月の有効求人倍率（季節調整値）は 0.71 倍で、前月を 0.01 ポイント上回った。 … 3
- (2-3) 物 価 平成 25 年 6 月の青森市消費者物価指数（平成 22 年=100）は、総合指数が 99.1 となり、前月比、前年同月比とも同水準となった。 … 4
- (2-4) 個人消費 ・平成 25 年 5 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 145 億 4,200 万円 で前年同月比 0.6%増となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでは 2.1%減となり、2 ヶ月連続で前年同月を下回った。
・平成 25 年 6 月の観光入込客数は、主な観光施設が前年同月比 15.4%減となり、2 ヶ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は 3.3%減となり、3 ヶ月ぶりに前年同月を下回った。
・平成 25 年 6 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 4,188 台で、前年同月比 9.3%減となり、6 ヶ月連続で前年同月を下回った。 … 5
- (2-5) 住宅建設 平成 25 年 6 月の新設住宅着工戸数は 704 戸で、前年同月比 15.0%増となり、4 ヶ月連続で前年同月を上回った。 … 6
- (2-6) 電 力 平成 25 年 6 月の大口電力使用量は 2 億 3844 万 kWh で、前年同月比 6.9% 使用量 増となり、17 ヶ月連続で前年同月を上回った。 … 6

（3）景気動向指数 C I（平成 25 年 5 月分）…………… 7

先行指数	118.6（前月を 0.1 ポイント上回り、2 か月ぶりに上昇した）
一致指数	128.4（前月を 2.9 ポイント上回り、3 か月連続で上昇した）
遅行指数	99.5（前月を 5.4 ポイント上回り、4 か月ぶりに上昇した）

（4）青森県景気ウォッチャー調査（平成 25 年 7 月分）…………… 8

- 3 ヶ月前と比べた景気の現状判断 D I ……51.5（前期比 6.3 ポイント減、2 期連続で 50 を上回る）
- 3 ヶ月後の景気の先行き判断 D I ……52.8（前期比 7.6 ポイント減、3 期連続で 50 を上回る）

1 青森県の推計人口（平成25年7月1日現在）

【概況】

平成25年7月1日現在の本県推計人口は、1,337,580人で、前月に比べ601人の減少となった。

○自然動態

出生者数が683人、死亡者数が1,229人で、546人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,218人、転出者数が1,273人で、55人の減少となった。

総人口の推移

(単位：人)

□	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数	増減数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
24.7.1	1,351,462	634,663	716,799	-0.040%	-545	-579	692	1,271	34	1,270	1,236
24.8.1	1,350,937	634,474	716,463	-0.039%	-525	-479	827	1,306	-46	1,829	1,875
24.9.1	1,350,523	634,348	716,175	-0.031%	-414	-548	823	1,371	134	1,931	1,797
24.10.1	1,349,969	634,196	715,773	-0.041%	-554	-445	736	1,181	-109	1,382	1,491
24.11.1	1,349,295	633,891	715,404	-0.050%	-674	-756	814	1,570	82	1,606	1,524
24.12.1	1,348,616	633,609	715,007	-0.050%	-679	-690	750	1,440	11	1,158	1,147
25.1.1	1,347,650	633,189	714,461	-0.072%	-966	-807	742	1,549	-159	959	1,118
25.2.1	1,346,535	632,638	713,897	-0.083%	-1,115	-994	816	1,810	-121	1,010	1,131
25.3.1	1,345,439	632,089	713,350	-0.081%	-1,096	-822	655	1,477	-274	992	1,266
25.4.1	1,338,972	628,700	710,272	-0.481%	-6,467	-797	704	1,501	-5,670	3,440	9,110
25.5.1	1,339,044	628,822	710,222	0.005%	72	-690	768	1,458	762	4,085	3,323
25.6.1	1,338,181	628,322	709,859	-0.064%	-863	-634	794	1,428	-229	1,330	1,559
25.7.1	1,337,580	628,017	709,563	-0.045%	-601	-546	683	1,229	-55	1,218	1,273

6月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月	平15.6	16.6	17.6	18.6	19.6	20.6	21.6	22.6	23.6	24.6	25.6	
自然動態	出生者数	992	985	831	910	812	862	780	879	853	692	683
	死亡者数	1,045	1,064	1,151	1,189	1,173	1,219	1,318	1,289	1,259	1,271	1,229
	自然増減数	-53	-79	-320	-279	-361	-357	-538	-410	-406	-579	-546
社会動態	県外からの転入者数	1,559	1,413	1,434	1,345	1,233	1,366	1,468	1,281	1,506	1,270	1,218
	県外への転出者数	1,637	1,729	1,782	1,807	1,742	1,715	1,477	1,342	1,479	1,236	1,273
	社会増減数	-78	-316	-348	-462	-509	-349	-9	-61	27	34	-55
増減数計	-131	-395	-668	-741	-870	-706	-547	-471	-379	-545	-601	

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成22年11月以降の人口は平成22年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

注：平成25年6月1日推計人口公表の際、データの把握漏れがあった市町村があったためその分の修正を行いました。修正後の数値等は青森県統計データランド(<http://www.pref.amori.lg.jp/kensei/tokei/data/land>)へ掲載しておりますので、そちらをご覧ください。なお、平成25年7月1日推計人口は下記の修正を反映しております。
●推計世帯数、世帯増減数の修正を行った市町村 野辺地町・東通村

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

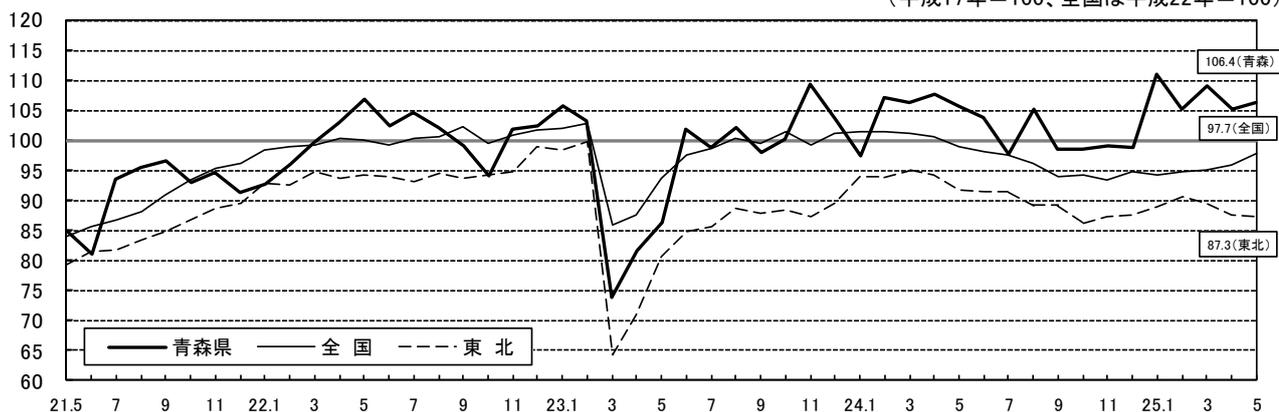
(2-1) 製造業の生産

平成25年5月の青森県鉱工業生産指数(平成17年=100)は、季節調整済指数が106.4で、前月比1.1%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は104.5で、前年同月比0.7%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、鉄鋼業、電気機械工業、電子部品・デバイス工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、金属製品工業、食料品工業などが低下し、鉱工業全体では1.1%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成17年=100、全国は平成22年=100)

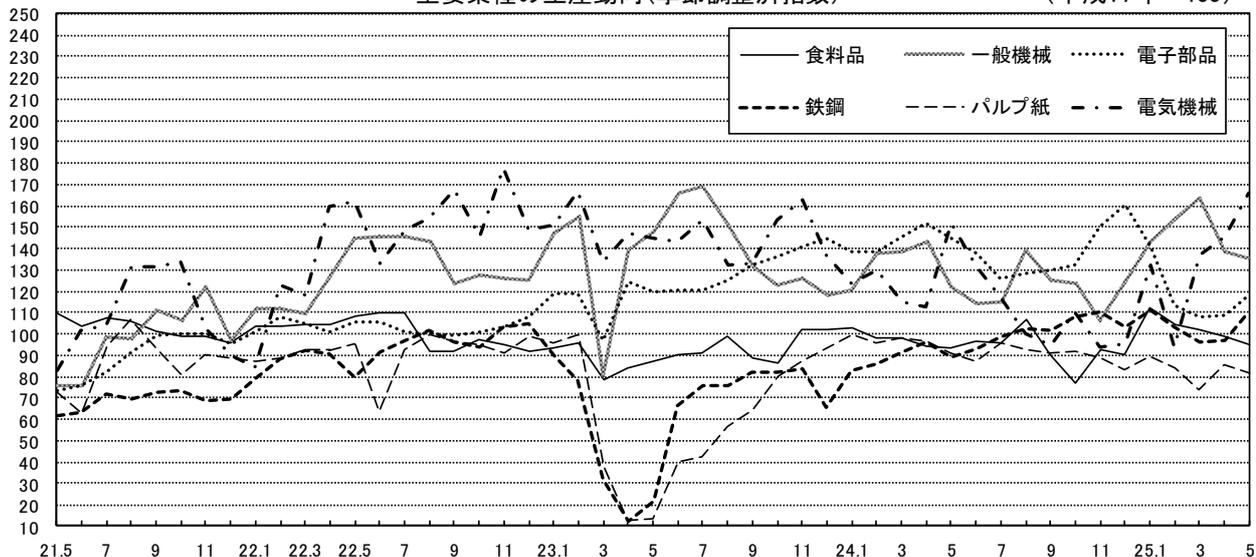


◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 1.1%

業種	プラス		マイナス		
	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
鉄鋼業	14.0	1605.0	化学工業	-30.4	-1381.0
電気機械工業	13.9	1307.3	金属製品工業	-13.1	-1163.4
電子部品・デバイス工業	8.9	1256.2	食料品工業	-3.4	-894.7
繊維工業	11.7	445.8	一般機械工業	-2.2	-455.1
非鉄金属工業	7.4	153.4	パルプ・紙・紙加工品工業	-4.6	-368.5

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成17年=100)



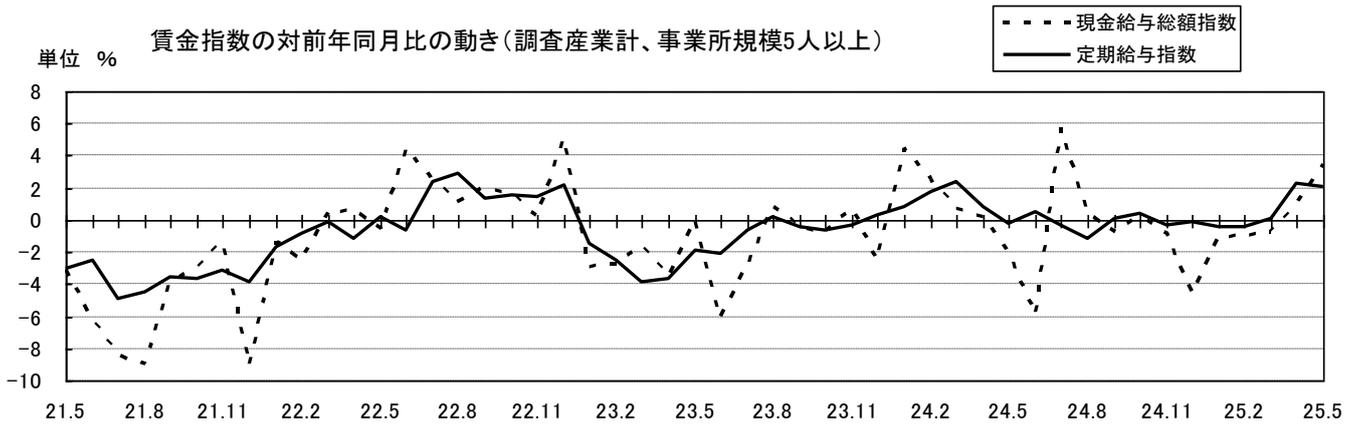
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成25年5月の定期給与は218,540円で定期給与指数(平成22年=100)では99.3となり、前年同月比2.1%増(現金給与総額222,638円、現金給与総額指数86.3、前年同月比3.4%増)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は84.1となった。

総実労働時間は151.7時間で、総実労働時間指数は98.1となり、前年同月比0.5%増となった。このうち、所定外労働時間は8.2時間で、所定外労働時間指数は90.1となり、前年同月比3.5%減となった。

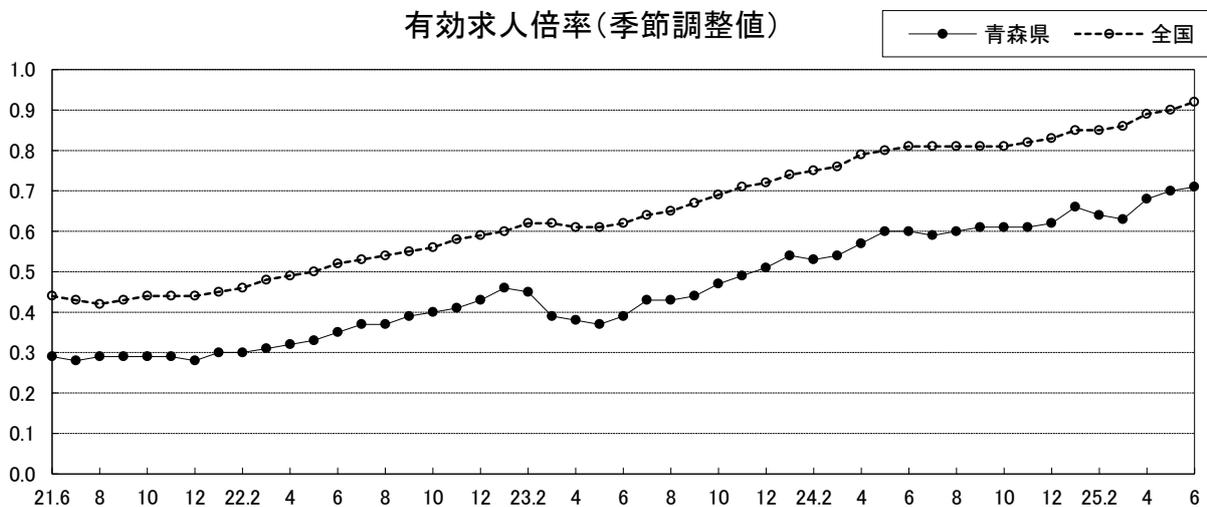
平成25年6月の有効求人倍率(季節調整値)は0.71倍で、前月を0.01ポイント上回った。



賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H22=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	222,638 円	267,408 円	86.3	84.4	3.4 %	-0.1 %
定期給与	218,540 円	259,839 円	99.3	98.8	2.1 %	-0.4 %
特別給与	4,098 円	7,569 円	—	—	—	6.8 %
総実労働時間	151.7 時間	144.4 時間	98.1	98.5	0.5 %	0.3 %
所定内労働時間	143.5 時間	134.2 時間	98.6	98.4	0.7 %	0.3 %
所定外労働時間	8.2 時間	10.2 時間	90.1	100.0	-3.5 %	0.0 %

- (注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。
 2.前年同月比は指数によって算出している。
 3.平成22年1月分から、平成19年11月改訂の日本標準産業分類に基づいて結果の公表をしている。
 資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料:青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成25年6月の青森市消費者物価指数（平成22年=100）は、総合指数が99.1となり、前月比、前年同月比とも同水準となった。

生鮮食品を除く総合指数は99.4となり、前月比、前年同月比とも0.1%の上昇となった。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は97.9となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ0.1%の下落となった。

総合指数が前月と同水準となった内訳を寄与度でみると、交通・通信、光熱・水道、教養娯楽などの上昇、食料、家具・家事用品などの下落が要因となっている。

総合指数が前年同月と同水準となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの上昇、食料、家具・家事用品などの下落が要因となっている。

図1 総合指数の動き

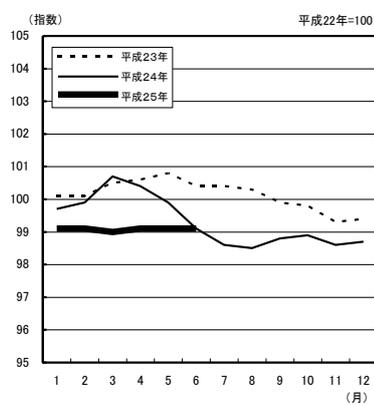


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

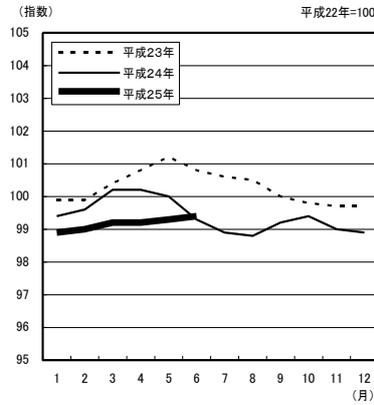
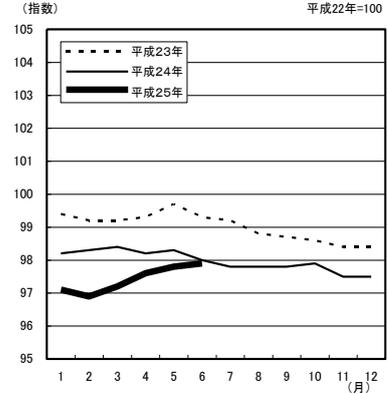


図3 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成22年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
当月指数	99.1	99.4	99.3	97.9	96.4	91.5	98.1	110.7	89.2	102.2	98.0	102.9	96.8	92.5	104.0
前月比(%)	0.0	0.1	0.1	0.1	▲0.6	▲2.5	0.1	0.5	▲0.8	▲0.2	0.0	0.6	0.0	0.5	0.0
寄与度	—	0.13	0.05	0.04	▲0.14	▲0.10	0.02	0.05	▲0.02	▲0.01	0.00	0.08	0.00	0.05	0.00
前年同月比(%)	0.0	0.1	0.0	▲0.1	▲1.6	▲3.7	0.2	3.1	▲4.8	▲0.1	▲1.2	1.7	0.1	▲0.4	0.8
寄与度	—	0.14	0.00	▲0.09	▲0.41	▲0.16	0.03	0.32	▲0.16	0.00	▲0.05	0.23	0.00	▲0.04	0.05

資料：県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

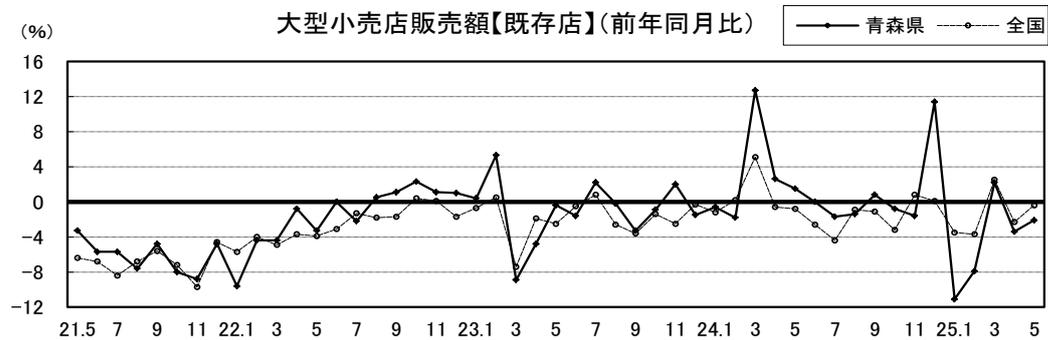
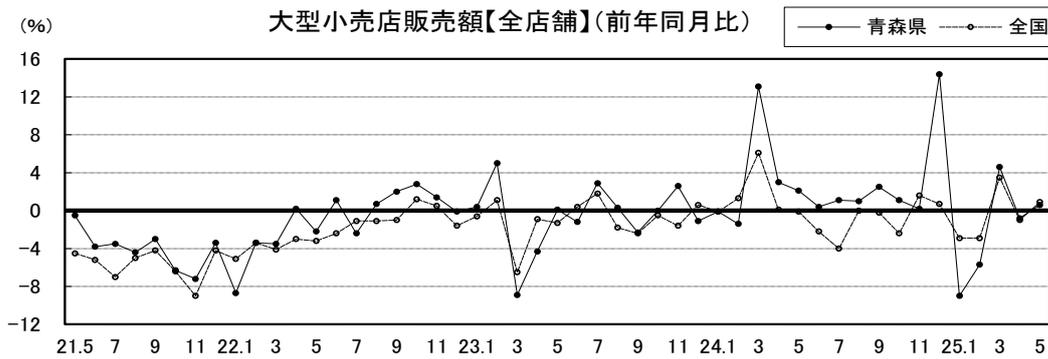
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

(2-4) 個人消費

平成25年5月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが145億4,200万円で前年同月比0.6%増となり、2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでは2.1%減となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

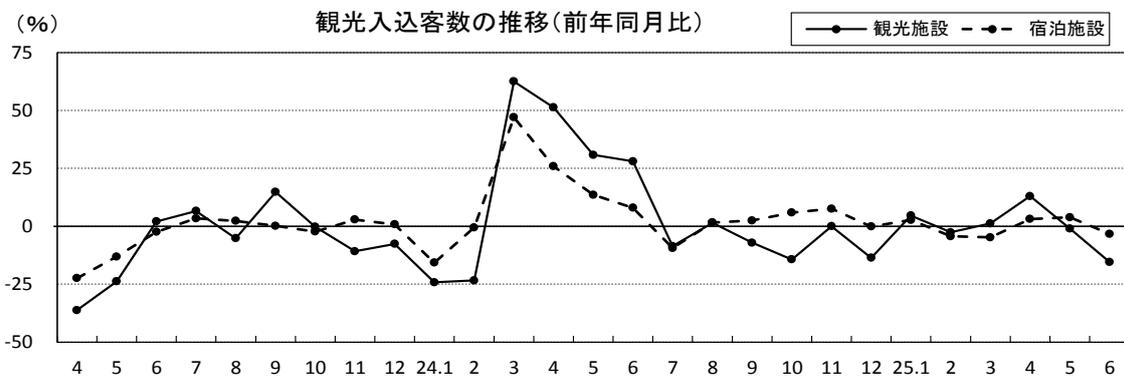
平成25年6月の観光入込客数は、主な観光施設が前年同月比15.4%減となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は3.3%減となり、3ヶ月ぶりに前年同月を下回った。観光施設は青森市、八戸市、むつ市などの施設で減少し、宿泊施設は弘前市、八戸市、十和田湖畔で減少したことによる。

平成25年6月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,188台で、前年同月比9.3%減となり、6ヶ月連続で前年同月を下回った。普通車、小型車、軽自動車のすべてが減少したことによる。

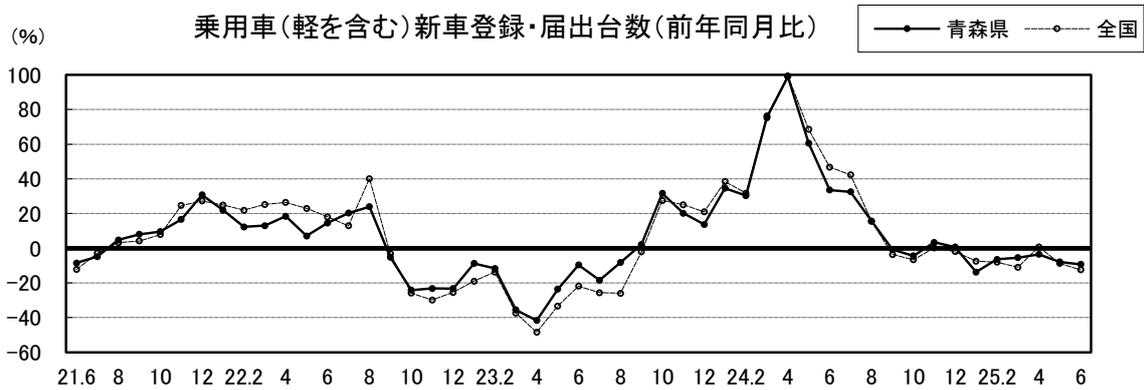


資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



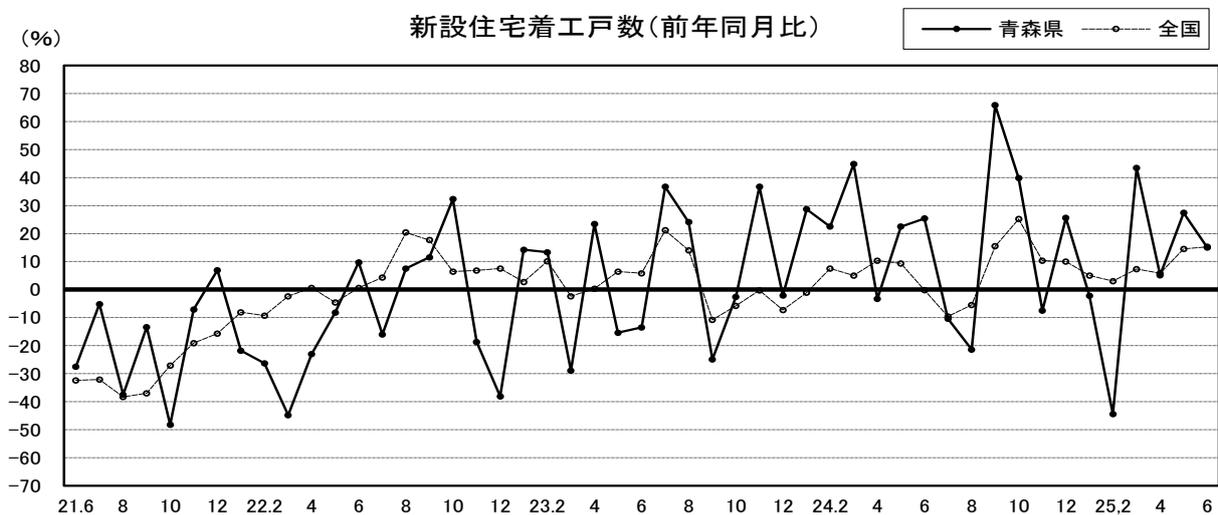
資料：県観光企画課「月例観光統計」 ※観光施設36施設（H23年は34施設対比）、宿泊施設60施設（H23年は56施設対比、H24年は52施設対比、H25年1～3月は57施設対比）



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

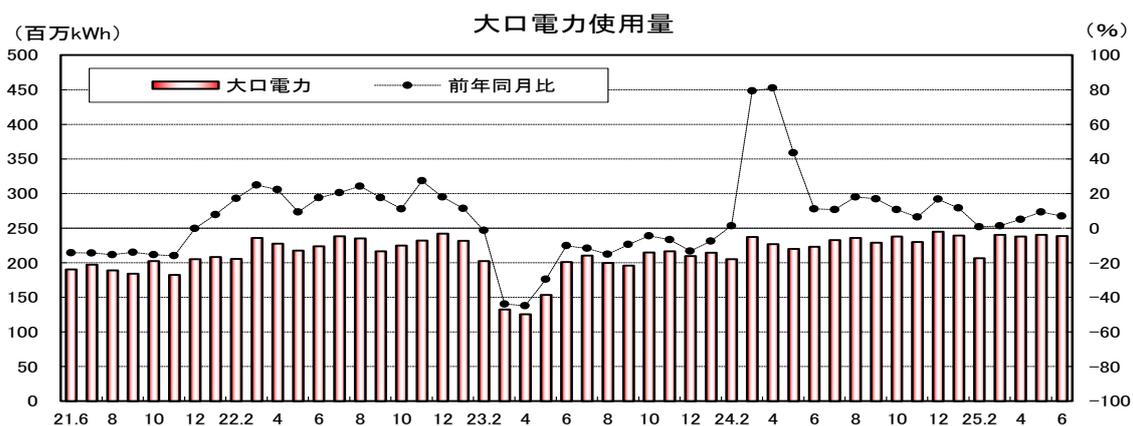
平成25年6月の新設住宅着工戸数は704戸で、前年同月比15.0%増となり4ヶ月連続で前年同月を上回った。持家及び分譲住宅等が増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 電力使用量

平成25年6月の大口電力使用量は2億3844万kWhで、前年同月比6.9%増(一昨年同月比18.7%増)となり、17ヶ月連続で前年同月を上回った。鉱業、製造業などが増加したことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

(3) 青森県景気動向指数

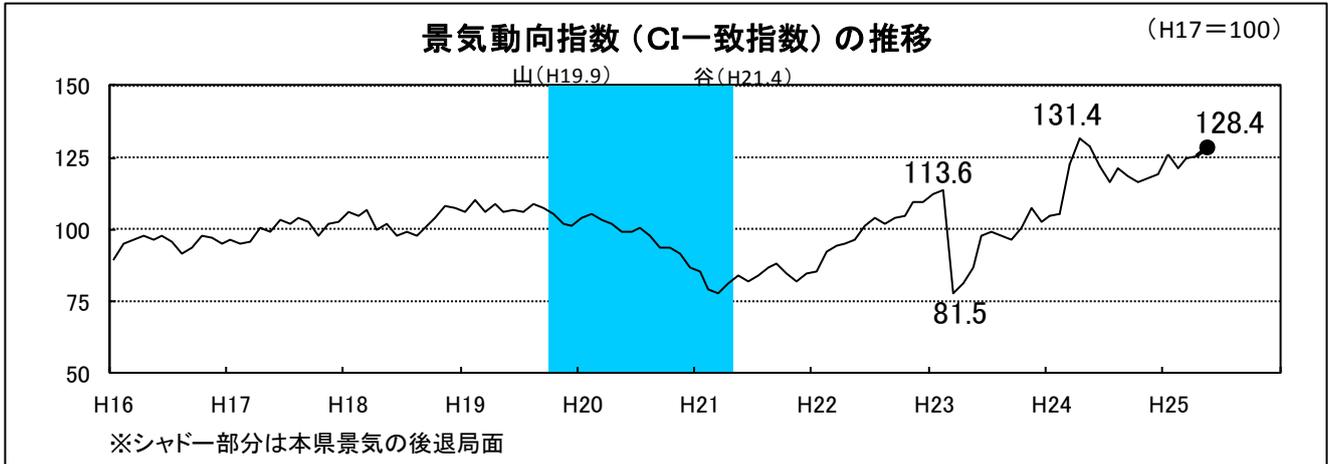
平成25年5月の青森県景気動向指数(CI)は、先行指数 118.6、一致指数 128.4、遅行指数 99.5 となった。

先行指数は、前月を 0.1 ポイント上回り、2 か月ぶりに上昇した。

一致指数は、前月を 2.9 ポイント上回り、3 か月連続で上昇した。

遅行指数は、前月を 5.4 ポイント上回り、4 か月ぶりに上昇した。

5月の一致指数は、消費・生産・雇用・物流関連等の指標がプラスになったことから、上昇した。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています)

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
新設住宅着工床面積	2.13	2か月ぶり	建築着工床面積	-2.61	2か月連続
中小企業景況DI	1.68	3か月ぶり	新規求人倍率(全数)	-1.73	3か月ぶり
生産財生産指数	1.55	2か月ぶり	企業倒産件数	-1.43	2か月ぶり
所定外労働時間指数(全産業)	1.33	2か月ぶり	乗用車新車登録届出台数	-1.05	4か月ぶり
一致系列					
有効求人倍率(全数)	1.24	2か月連続	輸入通関実績(八戸港)	-0.58	3か月連続
東北自動車道IC利用台数	0.95	3か月連続			
大型小売店販売額(既存店)	0.51	2か月ぶり			
大口電力使用量	0.37	3か月連続			
鉱工業生産指数	0.33	2か月ぶり			
旅行取扱高	0.03	2か月ぶり			
遅行系列					
公共工事請負金額	1.96	2か月ぶり	りんご消費地市場価格	-0.27	5か月連続
青森市消費者物価指数(総合)	1.00	2か月連続			
県内金融機関貸出残高	0.99	2か月ぶり			
現金給与総額(全産業)	0.93	3か月連続			
常用雇用指数(全産業)	0.34	4か月ぶり			
家計消費支出(勤労者世帯:実質)	0.29	2か月ぶり			

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(参考) 青森県景気動向指数 (DI)		
先行指数	62.5%	(2か月ぶりに50%を上回った)
一致指数	71.4%	(4か月連続で50%を上回った)
遅行指数	57.1%	(2か月連続で50%となった後50%を上回った)

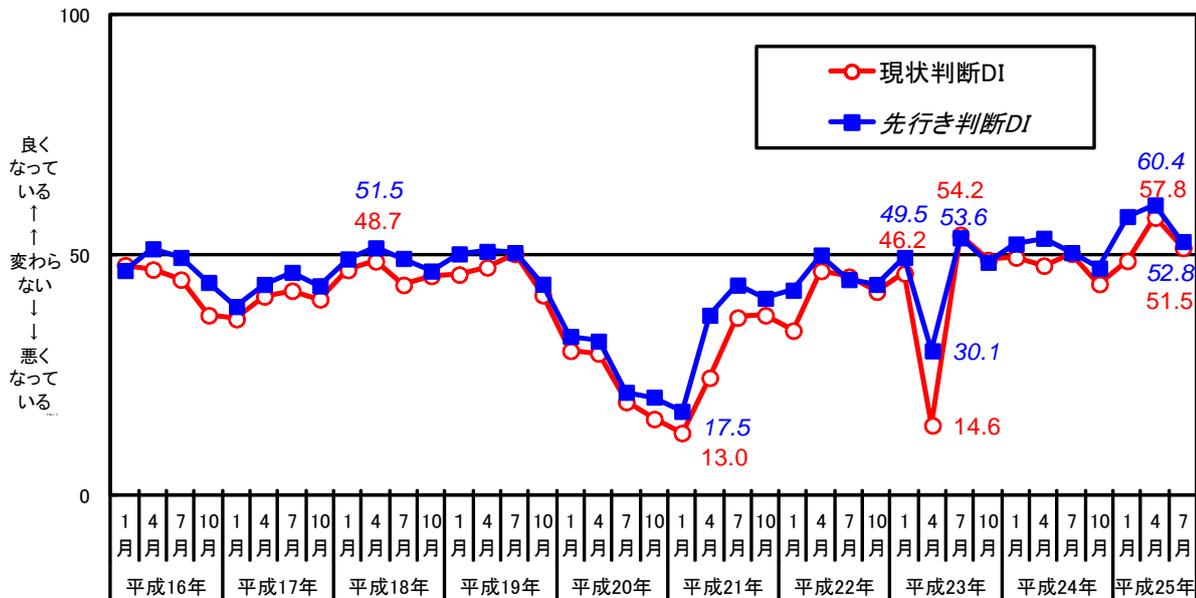
(4) 青森県景気ウォッチャー調査 (平成25年7月期)

3か月前と比べた景気の状態判断DIは、前期調査と比べると6.3ポイント減少の51.5となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。

3か月後の景気の先行き判断DIは、前期調査と比べると7.6ポイント減少の52.8となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で上回った。

(調査期間 平成25年7月1日～7月12日 回答率 100%)

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



● 3か月前と比べた景気の状態判断

動	<p>前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント増加、「やや良くなっている」が18.0ポイント減少、「変わらない」が12.0ポイント増加、「やや悪くなっている」が1.0ポイント増加、「悪くなっている」が4.0ポイント増加したことにより、全体では6.3ポイント減少の51.5と、景気の状態判断DIを示す50を2期連続で上回った。</p>
向	<p>判断理由では、大企業を中心とした首都圏などでの景気回復に比べて、県内にはまだ回復傾向が波及していないことや円安による原材料費などの物価上昇といったマイナス面をあげる声がある一方で、住宅関連での消費税引き上げ前の駆け込み需要のほか、個人消費の緩やかな改善などによる前年比での売上や予約の増加、客単価の向上、関与企業の業績アップなどをあげる声があった。</p> <p>地区別では、前期調査と比べて、全地区で減少し、東青、下北地区では景気の状態判断DIを示す50を下回った。</p>

● 3か月後の景気の先行き判断

動	<p>前期調査と比べると、「良くなる」が1.0ポイント増加、「やや良くなる」が21.5ポイント減少、「変わらない」が13.6ポイント増加、「やや悪くなる」が2.9ポイント増加、「悪くなる」が4.0ポイント増加したことにより、全体では7.6ポイント減少の52.8と、景気の状態判断DIを示す50を3期連続で上回った。</p>
向	<p>判断理由では、景気回復の県内波及に対する疑問視や、所得が上向かない中で消費税増税や物価上昇を懸念する声も依然として多くあったものの、夏祭りなど観光シーズンに向けての消費増加のほか、政府の経済政策効果の県内への波及期待、消費税増税前の駆け込み需要を見込む声が多くあった。</p> <p>地区別では、前期調査と比べて、全地区で減少したものの、3期連続で全地区で景気の状態判断DIを示す50を上回った。</p>

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

● 3か月前と比べた景気の現状判断理由

- ◎ 関与企業の業績もアップしているので。黒字企業が多くなった。(経営コンサルタント・県南)
- 高額商品の売れ行きが好調(絵画、陶芸、宝飾)。(百貨店・東青)
- 消費税率が上がる前、住宅ローンの金利が上がる前の駆け込み需要と思われるお客様が多くなっている。(住宅建設販売・津軽)
- 業界は仕事が多く、人手が足りない状況。(設計事務所・県南)
- 売上高前年比、客数前年比、客単価前年比、ともに3ヶ月前より回復しています。(スーパー・県南)
- 景気回復への期待感が高まっているが、売上に反映されるまでには至っていない。(家電量販店・東青)
- 民間住宅建築が、回復しつつあるものの、円安に伴う原材料の高騰、個人消費の低迷により、全体として大きな変化はない。(経営コンサルタント・東青)
- 景気回復の波及効果が地方まで及んでいない。回復傾向が続くとしても地方に効果が現れるのはまだ先のことと思われる。(商店街・津軽)
- 今も景気は冷え込んだままで、良くなっているという実感は感じられない。(タクシー・津軽)
- 夏のクリアランスシーズンに入ってもお客様の購買状況は活気を見せずにおり、また、天候も夏らしさになっていないことも加え、夏の商戦としては低迷していること。(百貨店・県南)
- 観光シーズンに入っても、ツアーのお客様が伸びない。(都市型ホテル・下北)
- △ 昨年の暮れから続いた政府の経済政策効果も実態が伴っていないことから失速してきたようだ。夏のボーナス時期を挟んでも少し消極的です。(衣料専門店・東青)
- △ 不順天候もあるし、円安による物価上昇などローカルは大変な状況である。(一般飲食店・県南)
- △ 円安による海外原料の高騰、国内原材料の不安定感による手詰まり感がある。(食料品製造・県南)
- △ 政府の経済政策効果は実感できず、消費税の増税が頭にあるのか、生活防衛に入っている感があります。当店ではギフトも取り扱いがあるのですが、買上個数が減っております。(一般小売店・下北)
- × 円安で物価だけ上昇して、所得は変わらない。(ガソリンスタンド・津軽)

● 3か月後の景気の先行き判断理由

- ◎ 三陸復興公園にもなったし、参議院選挙も終わるし、相当な期待感を持っている。(タクシー・県南)
- 政府に経済政策効果が出てくると予想される。(スーパー・東青)
- 今年一杯は同業者の話聞いてもかなり仕事量を抱えているようである。(住宅建設販売・津軽)
- 公共事業が多くなったのか、道路・港湾などで働いている人が増えている。暑さの関係か飲料など消費が多くなっている。(経営コンサルタント・県南)
- 様子見で、大きな投資等の仕事は少ないと感じるため。(人材派遣・東青)
- 電気業界ではスマートフォン以外に売れている製品がなく、他にヒットが予想される製品もないため。(電気機械製造・津軽)
- 夏の暑さが過ぎれば需要がおさまり、安定的に戻ると思います。(家電量販店・県南)
- 夏の恐山大祭や8月のねぶた祭り目的の集客が例年より出足が悪い。(都市型ホテル・下北)
- △ 6月のボーナス消費もあまり感じられないことから民間が支給されても実質的に支給額に反映されていないと消費には回らない、雰囲気だけでは限界かも。(衣料専門店・東青)
- △ 9月～12月の工事物件が少なく、見積依頼件数も少ない。(広告・デザイン・津軽)
- △ 円安の影響で原価が高くなる商品も多く、値上げになる商品もあり、お客様の購買動向に変化が出ると思われる。一部出ている。(スーパー・県南)
- × 円安が中国からの商品卸価格を押し上げております。企業努力では値上げ分を吸収できず、止むを得ず、店頭価格を上げなければなりません。まさにインフレ方向ですが、所得が増えない中での値上げに消費者は敏感です。買い控えすると思われます。この円相場が続いたまま、消費税が上がった時のことを考えると恐ろしいです。(一般小売店・下北)

記号の意味: ◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、△やや悪くなっている、×悪くなっている

資料: 県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」